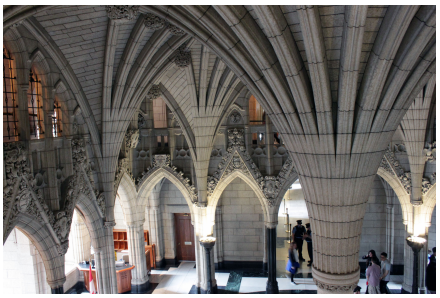
ALCC NEWS
MAY 21, 2014

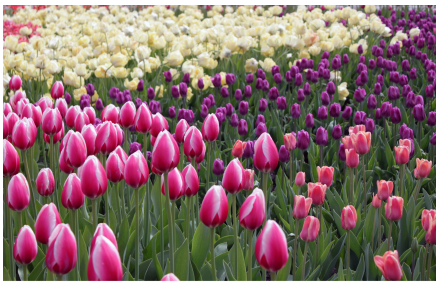
５月１６日金曜日の早朝６時にALCC Dresden Rowキャンパスに集合し、８時にHalifaxを発ちカナダの首都であるOttawaへと向かいました。今回の旅行はカナダの祝日であるVictoria Dayの３連休を利用した希望者のみの旅行でした。しばらくぶりの素晴らしいお天気に恵まれたHalifaxをあとに、Ottawaへ向かうにつれ次第に空は雨雲に覆われ、到着した時にはあいにくの大雨となりました。

しかし、そんなことにはくじけず、早速、生徒たちはインフォメーションセンターで私からの「 Downtownへの一番安価な交通手段を調べる」というミッションを難なくこなしました。インフォメーションセンターのスタッフと検討の結果、バスのDay Passを購入することになり、バスに乗ってまずはホテルへ向かい、その後、雨の中、国会議事堂の見学に行きました。第一日目に計画していた国会議事堂とベルタワーの無料見学は、雨の日にとっておきのプランとなり、我ながらGood Jobでした！



議事堂の入り口にあるベルタワーからはOttawa Riverを含む四方の景色が眺められ、無料ツアーでテレビの国会中継で見る国会議事堂を見学することができました。議事堂の天井画や壁は美しいアートで飾られ、議事堂に付属している円柱形の図書館は、松の木に様々な彫刻で飾られた壁で囲まれた美術館のような素晴らしい図書館でした。

第２日目はお天気が良くなり、お目当てのTulip Festivalに行きました。無料のシャトルバスがあるため、主要な観光地には無料で行くことが出来てとても便利でした。この Tulip Festivalは１９５３年から開催され、世界でも最大級のものだそうです。驚くほどの様々な種類や色のチューリップは、オランダがドイツの占領下であった時代にカナダの人々がオランダの王族の安全を守ったことに対するオランダ人の感謝の気持をこめて送られたものだそうです。その夜は、日中は多くの観光客で賑わった会場近くで花火大会も行われ、更に大勢の人で賑わった Tulip Festival の一日は昼も夜もカラフルな一日でした。



最終日の日曜日は更にお天気が良くなり、Notre Dame Basilica（ノートルダム大聖堂）とその隣にあるNational Gallery of Canada（カナダ国立美術館）へ行きました。ノートルダム大聖堂では、実際に礼拝に参加することによりキリスト教の習慣を実際に体験することが出来ました。

National Gallery of Canadaはとても大きな近代的な美術館で、明るいオープンコンセプトが印象的でした。時間の関係でモダンアートしか見学出来ませんでしたが、最も印象的だったアートはシリコンでできた巨大なとてもリアルな男性の像でした。皮膚や人毛も本物そっくりでした！ここも日曜日は見学料無料ということで、オタワはカナダの首都であるだけあって整然とした美しい街ですが、観光地ではカナダ人を探すのが難しいほどビジターの多い街で、英語を勉強するにはやっぱりハリファックスがいいという結論に達しました!!!